



FM佐賀
77.9MHz

毎週月曜のお昼は
『Hello!多久』を聴こう!!

12:00
12:55

FM佐賀で8月2日正午、多久市の情報番組『Hello!多久』が始まりました。一週間の始まりでもある月曜のお昼のひとときにふさわしく「ハロー!多久」と、覚えやすく、親しみやすい番組名で、愛称は『ハロタク』です。



8月9日のスクールパラダイスのコーナーでは、多久高野球部の野口晃監督とチームを代表して3年生の馬場和之選手、宮島勇二選手、2年生の川内航選手が登場。甲子園を目指し、前評判どおりの強さで勝ち進んだものの、惜しくも決勝進出を逃し悔しい中にもそれをバネに目標を描く馬場・宮島両選手は、今の素直な思いや、後輩へのメッセージなど、また新主将の川内選手は、新チームの状態や秋の大会に向けての目標などを語りました。

野口監督は「やっぱり悔しい。このチームで甲子園に行き、市民のみなさんにも応援に来てほしかった」と、大会を振り返り、「保護者をはじめ地域のみなさんにお世話になり、声や応援はとてども励みになりました」と感謝していました。

インタビューに答える
多久高野球部の出演者
(左から)

野口監督

新チームが始動しています。変わらぬ応援をお願いします。

宮島選手

ここまで来れたのは、みんなの支えのおかげ。野球で恩返しできるようにしたい。

馬場選手

今後も野球を続け、上を目指せる選手になりたい。

川内選手

新チームはまだ、先輩たちのような力は持っていないので、地域の方々の応援があってこそ多久高の良い所が出せると思います。応援してください。

この番組は、多久市の観光広報ラジオ放送事業で制作しているもので、FM佐賀のスタジオから届ける55分間の生放送。市内の学校や幼稚園・保育園の子どもたちの元気な声や、グルメ情報、お出かけ情報など旬の魅力を満載し、来年3月まで発信します。パーソナリティは波佐間崇晃さんと中山直美さんの2人。山村宏之さんがミキシングを務め、3人は情報収集やレポートで市内を飛び回り、番組では多久の魅力をたっぷり伝えていきます。

問い合わせ 商工観光課 商工観光係
☎75-2117



▲左から、波佐間さん
中山さん、山村さん

私たちが番組担当です。市内で顔を見かけたらぜひ声をかけてください。みなさんからのメッセージや、リクエスト、情報をお待ちしています。

番組へのメッセージは

✉ taku@fmsaga.co.jp

☎ 0952-25-1462

市長コラム

温 | 故 | 創 | 新

Message for citizen

熱報・朗報・注意報

連日猛暑酷暑だ。6月から8月18日まで
に広域消防管内(多久・小城・佐賀)で79人が
熱中症で救急搬送された。うち6人が多久市内だ。
水分・ミネラル補給、体温調整などを忘れずに。

この猛暑を吹き飛ばす熱報もあった。高校野
球の県大会準々決勝で無安打無得点を遂げたのは
多久高校の宮島投手。快速投球の活躍が光った。
準決勝で敗れたが、「同級生と一緒に甲子園をめ
ざす」思いが輝いた。甲子園球場では沖繩代表の
興南高校が春夏連覇の快挙を果たした。「仲間の
打線につなぐ」気持ちで快進撃を支えた。何事も
チームワークと一体感が重要と教えてくれた。
朗報は「多久市が全国トップ」という財政効
率調査の報道だ。民間シンクタンクが全国780
市の2007年度決算状況をもとに分析した結果
だ。この年は基金財政運営に工夫をし、財政改善
を図った。行政改革が進んだとの評価だが、まだ
まだ改革が必要。さらにさらに、である。

逆に気になる注意報は「健診率の伸び不足」。
年初から「健診日を決めて受診を」と呼びかける
がまだまだ低い。健康はかけがえがない。お盆に
も健診が大切と耳にした。基本である早期発見・
早期治療のためにも必ず必ず受けてほしい。

さらに福報もある。体調不良で市役所に駆け込
まれた方があり、職員3人が迅速に対応した。そ
の応対への丁寧な御礼状を頂いたのだ。「励みに
なります」と返信すると、再び手紙が。感謝。

そんなこんな夏が過ぎいく。厳しい時代だ
けに「改善の継続こそ力」で進みます。9月は百
歳訪問や月見夜楽など。秋が近づく。(俊彦)